

博多座

文楽公演

制作協力／文楽協会

12月22日 木
16時30分開演

12月23日 金
11時開演／15時30分開演

◆観劇料(税込)
A席 7,000円
特B席 5,600円
B席 2,500円

笑ひ顔見せてくださんせ

一ぺんでエ、
三人遣いに
なつてみたいんじや

一

端模様夢路門松

作・演出 桐竹勘十郎
作曲 鶴澤清介
つめもようゆめじのかどまつ

★演目前に作品解説あり

二

曲

輪

吉田屋の段

樟

★演目前に作品解説あり

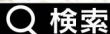
撮影：小川知子

10月22日(土) 午前10時より電話予約・インターネット発売開始

10月23日(日) 午前10時より博多座チケット売場でも販売いたします。※チケット売場販売用の別枠席はご準備いたしておりません。

【博多座電話予約センター】 TEL.092-263-5555 ※電話番号はおかけ間違いのないようお願い申し上げます。

【博多座チケット売場】 博多座2階広場の正面にごさいます ※チケット売場販売用の別枠席はご準備いたしておりません。ご了承くださいませ。

【インターネット販売】 博多座 チケット  検索

【グループ観劇受付中】 TEL.092-263-5880 博多座セールスグループ

●お取り扱いプレイガイド

チケットぴあ Pコード:515-406 <https://t.pia.jp/>

〇手元 Lコード:82071 <https://l-tike.com/>

地下鉄「中洲川端駅」⑦番出口直結／西鉄バス「川端町・博多座前」下車
●天神から徒歩10分、地下鉄1分 ●JR博多駅から地下鉄3分



博多座

〒812-8615 福岡市博多区下川端町2-1 ☎092(263)5858

協力 ANA ● JR九州 ● Nishitetsu ● 福岡市地下鉄

※出演者並びにスケジュール変更の際は何卒ご了承くださいませ。出演者変更の場合でも他日への変更・払い戻しはいたしかねます。
※博多座では小学生未満のお子様のご入場はお断りしております。
※今後の社会情勢に応じて公演内容・開演時間並びにチケットの販売等につきましては、変更となる可能性があります。最新の情報については博多座ホームページをご確認ください。

博多座文楽公演

12月22日(木) 16時30分開演
12月23日(金) 11時開演 / 15時30分開演

【解説】文楽を楽しもう

桐竹勘十郎

一、端模様夢路門松

桐竹勘十郎 作・演出／鶴澤清介 作曲

【人形役割】

竹本 碩太夫	門松 勘十郎
鶴澤 清介	蔵 吉田 佳
鶴澤 清	八 桐竹 紋
鶴澤 清	忠 吉田 太
鶴澤 清	允 吉田 太
鶴澤 清	方 吉田 太

老 吉田 玉	お 梅 桐竹 紋
侍 吉田 紋	梅 桐竹 紋
仲 間 たち	大 ぜ

子 望月太明蔵社中

【解説】文楽を楽しもう

豊竹 呂勢太夫

二、曲輪樟 吉田屋の段

【人形役割】

伊 左 衛 門 竹本 鑑太夫	藤屋 伊左衛門 吉田 玉
喜 左 衛 門 豊竹 呂勢太夫	吉田屋喜左衛門 吉田 紋一郎
お き さ 男 竹本 聖太夫	女房おきさ 桐竹 紋一郎
ツレ 鶴澤 藤蔵	扇屋 霧 桐竹 勘十郎
鶴澤 清	若 居 大 ぜ
鶴澤 清	仲 居 大 ぜ
鶴澤 清	禰 持 大 ぜ

子 望月太明蔵社中

制作協力／文楽協会

端模様夢路門松

つめ人形の夢と悲哀を描く 博多座初お目見えの新作浄瑠璃

桐竹勘十郎が「吉田鑑太郎」を名乗っていた頃に書かれた作品です。作曲は鶴澤清介。昭和五九年（一九八四年）三月に初演されました。

文楽人形は、「三人遣い」が特徴で、一つの人形を三人の人形遣いが動かしています。

その一方で、ある時は、見物人や、近所の人々、またある時は、主人公に襲いかかりコテンパンに投げ飛ばされる捕手達、またある時はヒロインをいじめる女官達、素朴な顔と小ぶりの体の人形達こそが今回の主人公である「つめ人形」です。この演目にはつめ人形しか出てきません。華やかな傾城も、豪壮な鎧をつけた武将も出ません。物語は毎日毎日、投げられ、振り回されるつめ人形たちの夢と悲哀を描きます。ビギナーにも見巧者にも、お楽しみ頂ける新作浄瑠璃にご期待下さい。

〈あらすじ〉



道頓堀の人形浄瑠璃の芝居小屋。今日も身を粉にして舞台を終えた、つめ人形達が楽屋に戻ってきました。そんな中、つめ人形のひとり、門松の元気がありません。仲間達が理由を聞くと「毎日舞台でつかれてたんどご作るのはもう飽きた。主役も出来る三人遣いになりたい」と言うて泣き出します。そんな門松の事を周囲は、相手にしません。門松は落ち込み泣きつかれて寝込んでしまいました。目を覚ますとなんと三人遣いの体になっているではないですか。しかも人気演目の「夏祭浪花鑑」の団七郎兵衛に扮しています。意気揚々と舞台へ出る門松。主役の任を果たすことはできるのでしょうか。

曲輪樟 吉田屋の段

男女の恋心が織りなす 幸福感にあふれた名作

大坂随一の廓である新町、そこで遊女の中でも最高位の太夫であった名妓夕霧は、延宝六年（一六七八年）に全盛の内に夭折したこともあり、没後なお伝説的な人気を博し、この作品と併せて数多の浄瑠璃、戯曲に描かれました。

〈あらすじ〉

豪商藤屋の跡取り伊左衛門は、大坂・新町扇屋の遊女夕霧と七年に及ぶ恋愛関係にありました。新年の準備で慌ただしい新町の揚屋・吉田屋の店先に深編笠を被った紙衣姿の男がやってきて、亭主の喜左衛門を呼び出します。そのみすばらしい身なりの男こそ借金返済のあてもなく親にも勘当され、行き場をなくした伊左衛門でした。喜左衛門は男が伊左衛門だと見抜きます。さらにはそんな伊左衛門を座敷に上げて昔のようにもてなします。敢えて夕霧の話はせず、伊左衛門を温かくもてなす、喜左衛門の女房おきさ。二人の気遣いに胸を打たれた伊左衛門が、夕霧の様子を尋ねてみると最近まで重病に苛まれていた夕霧は、快方傾向にあるとのこと。丁度隣の座敷では、その夕霧が侍と一緒にいるというではありませんか。帰りがける伊左衛門。しかし喜左衛門が二人を対面させます。せつかくの機会にも関わらずふて寝を決め込み、挙句には、座敷を抜けてきた夕霧を冷たくあしらう伊左衛門。夕霧は自分が病気を乗り越えられたのは、伊左衛門との再会を心の支えにできたからだと思いきや訴えます。それを聞いた伊左衛門もやっと心を開き、二人の心が寄り添った時、互いの境遇が急転直下、伊左衛門の勘当は赦され、夕霧の身請けも決まったと喜左衛門夫婦から朗報が。皆が喜び幸福感にあふれた初春を迎えるのでした。



撮影：小川知子

10月22日(土)午前10時より電話予約・インターネット発売開始

10月23日(日)午前10時より博多座チケット売場でも販売いたします。 ※チケット売場販売用の別枠座はご準備いたしております。

■博多座電話予約センター ●電話番号はおかけ間違いのないようお願い申し上げます。

☎092-263-5555

■インターネット販売 博多座 チケット 🔍検索

■博多座チケット売場:博多座2階広場の正面にございます

■15名様以上のグループ観劇受付中 博多座セールス担当 ※今すぐご予約いただけます。
☎092-263-5880 ●グループ観劇の企画からお食事、土産、公演プログラムの手配まで、弊社営業担当がお世話させていただきます。お気軽にお問合せください。

■ご観劇料(税込): A席7,000円／特B席5,600円／B席2,500円

●ご観劇券は下記プレイガイドでも扱っております。

チケットぴあ Pコード: 515-406 <https://t.pia.jp/>
O-TiKE Lコード: 82071 <https://l-tike.com/>

※出演者並びにスケジュール変更の際は何かご了承くださいませ。出演者変更の場合でも他日への変更・払い戻しはいたしかねます。
※博多座では小学生未満のお子様のご入場はお断りしております。
※今後の社会情勢に応じて公演内容・開演時間並びにチケットの販売等につきましては、変更となる可能性があります。最新の情報につきましては博多座ホームページをご確認ください。



博多座

地下鉄「中洲川端駅」⑦番出口直結
西鉄バス「川端町・博多座前」下車
●天神から徒歩10分、地下鉄1分 ●JR博多駅から地下鉄3分
〒812-8615 福岡市博多区下川端町2-1 ☎092(263)5858